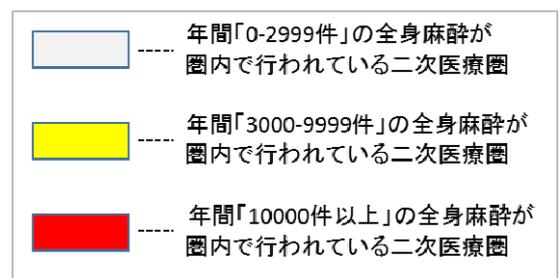
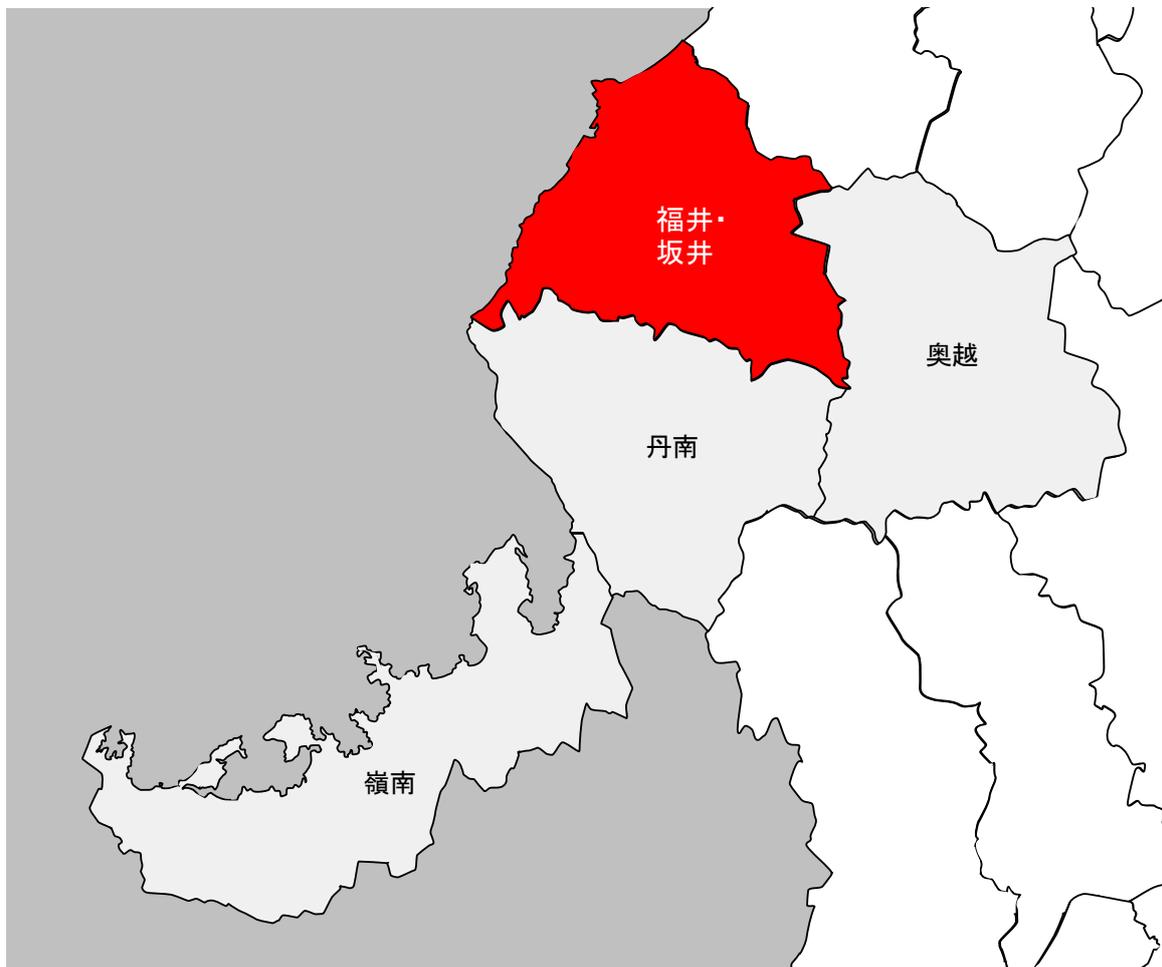


18. 福井県



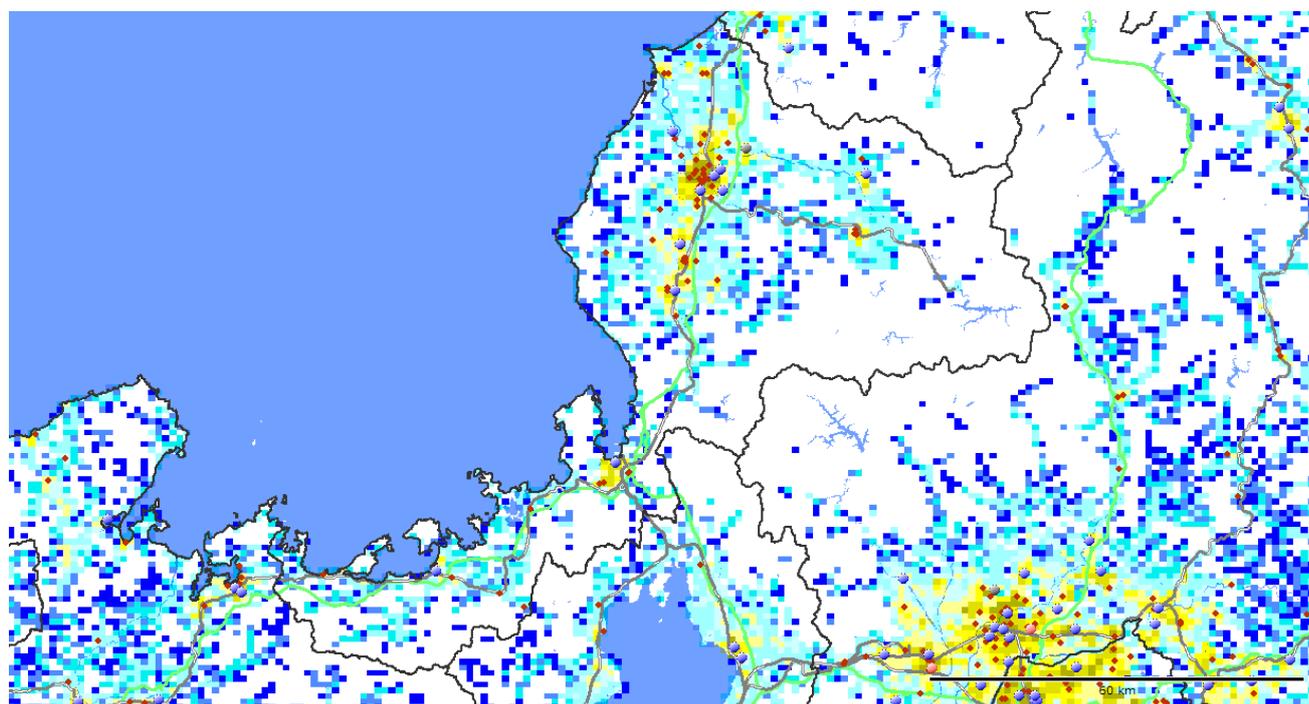
18. 福井県

目次

福井県.....	18 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	18 - 7
1. 福井・坂井医療圏.....	18 - 15
2. 奥越医療圏.....	18 - 19
3. 丹南医療圏.....	18 - 23
4. 嶺南医療圏.....	18 - 27

18. 福井県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



¹ 福井県を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(福井県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 福井県は、総人口約 785 千人(2015 年推計)、面積 4190 km²、人口密度は 187 人/km²である。

*人口の将来予測： 福井県の総人口は 2025 年に 731 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 633 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 117 千人が、2025 年にかけて 143 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 145 千人へと増加する(2025 年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 福井県の一人当たり医療費(国保)は 332 千円(偏差値 55)、介護給付費は 285 千円(偏差値 60)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 福井県の一人当たり急性期医療密度指数²は 1.16、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.12 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 51(病院医師数 53、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 49 と全国平均レベルである。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 54 とやや多く、回復期病床数は偏差値 49 と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 51 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 福井県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11899 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 8542 床(偏差値 61)、高齢者住宅等が 3357 床(偏差値 44)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、10054 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 59、特別養護老人ホーム 58、介護療養型医療施設 52、有料老人ホーム 41、軽費ホーム 58、グループホーム 46、サ高住 52 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、894 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 40)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

【医療と介護の需要予測】

*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)³

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は9527床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は7600床であり、その差は-1927床(-20%)である。

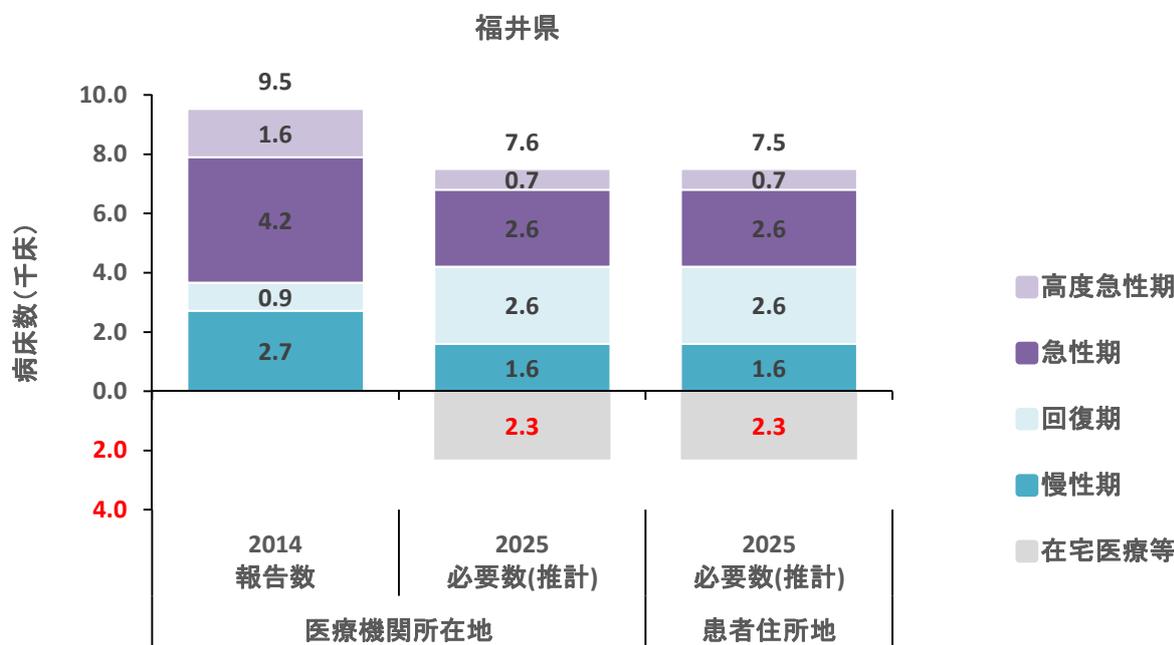
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1632床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は700床であり、その差は-932床(-57%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は4233床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2600床であり、その差は-1633床(-39%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は940床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は2600床であり、その差は+1660床(+177%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は2722床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1600床であり、その差は-1122床(-41%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は2300人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数⁴は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

³必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

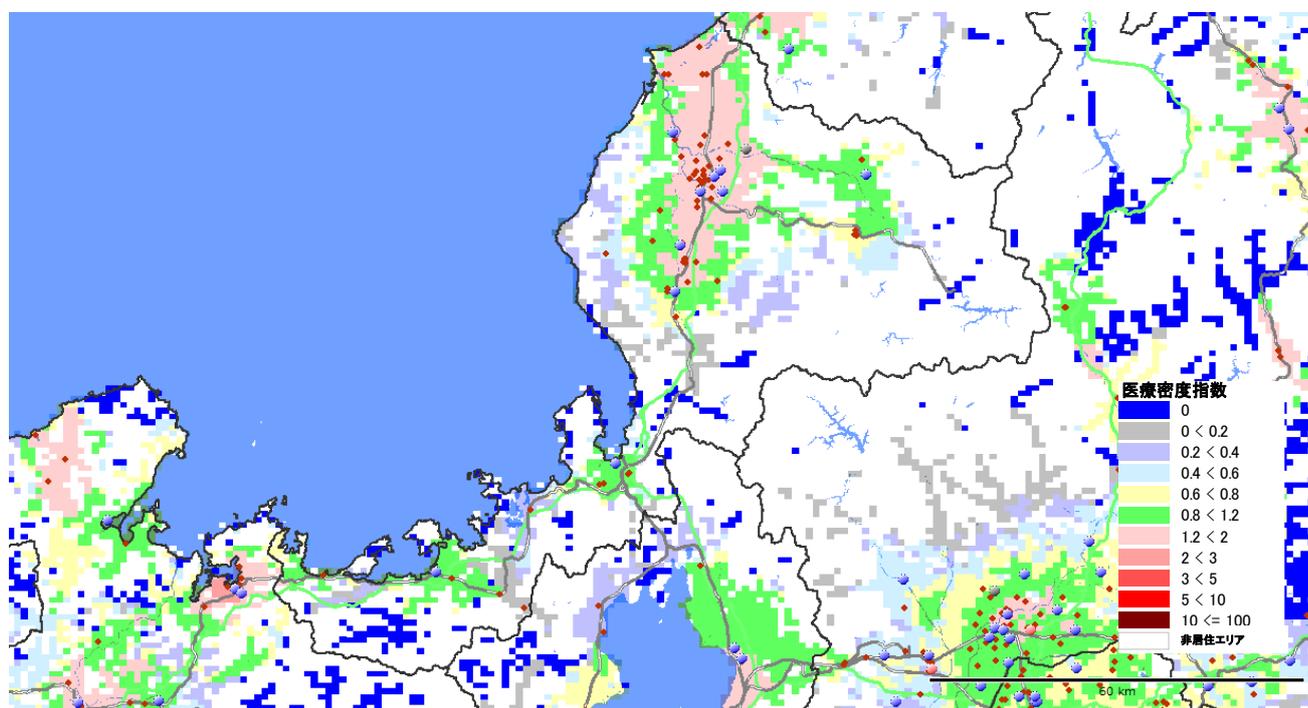
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベット数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

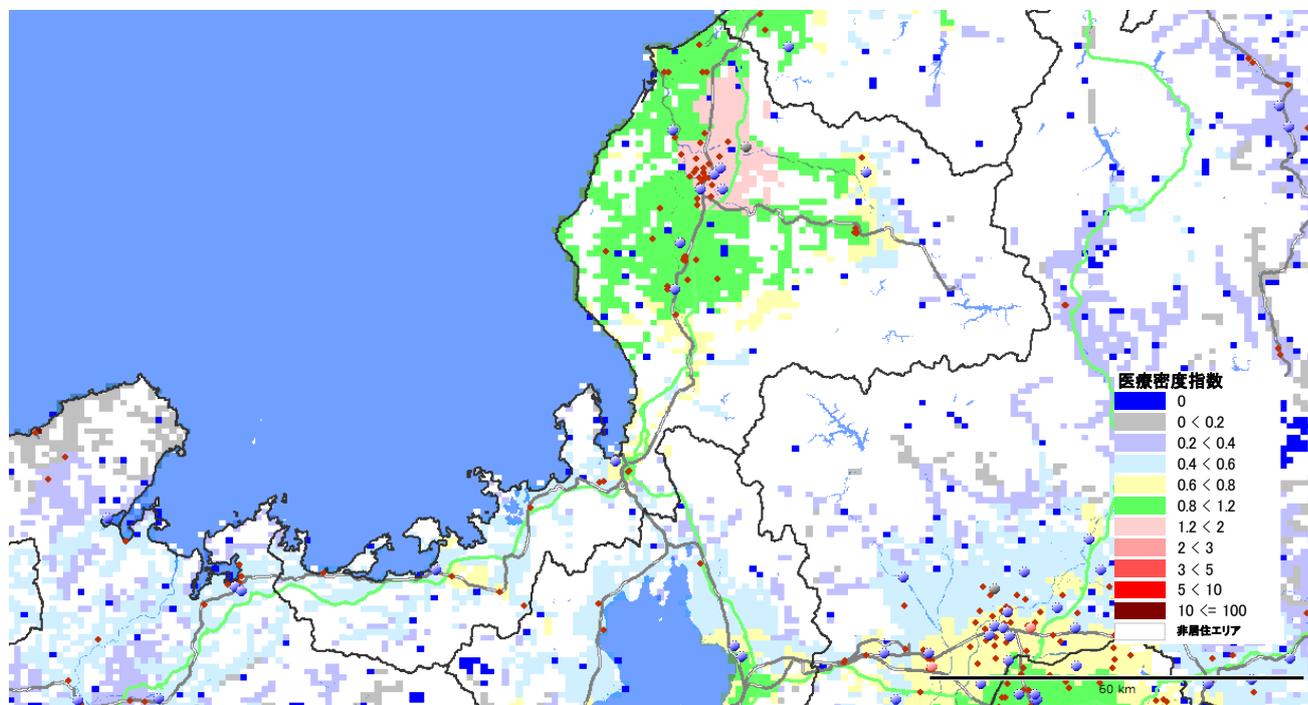
18. 福井県

2. 医療密度⁵

図表 18-1 急性期医療密度指数マップ



図表 18-2 慢性期医療密度指数マップ



⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料¹

資_図表 18-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
福井県	785	43位	4,190	34位	187.3		29%	731	633	117	143	145	-7%	-13%	22%	1%
福井・坂井	401	51%	957	23%	419.3	地方都市型	28%	378	331	58	73	76	-6%	-12%	26%	4%
奥越	57	7%	1,126	27%	50.5	過疎地域型	34%	49	38	11	12	11	-14%	-22%	9%	-8%
丹南	186	24%	1,007	24%	184.9	過疎地域型	28%	175	153	27	33	34	-6%	-13%	22%	3%
嶺南	140	18%	1,099	26%	127.7	過疎地域型	29%	129	110	21	25	25	-8%	-15%	19%	0%

出典 <人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 18-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
福井県	1.16	1.12	9.9%	-9.8%	-11.4%
福井・坂井	1.47	0.56	10.8%	-13.3%	-17.1%
奥越	0.82	1.07	0.8%	-6.7%	-0.4%
丹南	0.93	0.84	4.5%	-15.8%	-16.9%
嶺南	0.75	1.10	-4.5%	-21.0%	-21.7%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

¹日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

18. 福井県

資_図表 18-3 医療費、介護給付費²

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
福井県	332	55	285	60
福井・坂井	346	59	283	59
奥越	379	67	309	66
丹南	337	57	279	58
嶺南	325	54	288	60
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資_図表 18-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
福井県	70	0.8%	8.9	55	591	0.6%	75	48
福井・坂井	35	50%	8.7	55	340	58%	85	53
奥越	6	9%	10.6	59	34	6%	60	40
丹南	18	26%	9.7	57	115	19%	62	41
嶺南	11	16%	7.8	53	102	17%	73	47
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 18-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
福井県	591	0.6%	75	48	493	0.5%	63	45	98	1.1%	12.5	57
福井・坂井	340	58%	85	53	283	57%	71	49	57	58%	14.2	60
奥越	34	6%	60	40	23	5%	40	33	11	11%	19.4	67
丹南	115	19%	62	41	92	19%	49	38	23	23%	12.4	57
嶺南	102	17%	73	47	95	19%	68	48	7	7%	5.0	47
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

²複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

資_図表 18-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
福井県	11,138	0.7%	1,419	53	1,523	1.3%	194	59	12,661	0.7%	1,613	55
福井・坂井	6,489	58%	1,617	57	901	59%	224	62	7,390	58%	1,841	59
奥越	546	5%	961	44	190	12%	334	72	736	6%	1,295	49
丹南	2,033	18%	1,092	47	336	22%	180	58	2,369	19%	1,273	49
嶺南	2,070	19%	1,474	55	96	6%	68	48	2,166	17%	1,543	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 18-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
福井県	6,481	0.7%	826	55	2,294	0.7%	292	52	2,298	0.7%	293	51
福井・坂井	4,174	64%	1,040	64	999	44%	249	50	1,284	56%	320	52
奥越	302	5%	532	42	109	5%	192	47	135	6%	238	49
丹南	945	15%	508	41	694	30%	373	55	378	16%	203	47
嶺南	1,060	16%	755	52	492	21%	350	54	501	22%	357	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資_図表 18-8 回復期リハビリ病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)
福井県	417	0.6%	53	49
福井・坂井	256	61%	64	51
奥越	41	10%	72	53
丹南	80	19%	43	47
嶺南	40	10%	28	43
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月			

18. 福井県

資_図表 18-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
福井県	15,084	0.6%	1,922	49	7,332	0.7%	934	53
福井・坂井	12,144	81%	3,025	60	4,884	67%	1,217	63
奥越	336	2%	591	35	0	0%	0	21
丹南	912	6%	490	34	1,176	16%	632	43
嶺南	1,692	11%	1,205	41	1,272	17%	906	52
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 18-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
福井県	2,124	0.6%	271	51	1,450	0.7%	185	53	674	0.6%	86	47
福井・坂井	1,490	70%	371	63	1,075	74%	268	66	415	62%	103	52
奥越	82	4%	144	37	45	3%	79	37	37	6%	65	40
丹南	276	13%	148	37	156	11%	84	38	120	18%	65	40
嶺南	276	13%	196	43	174	12%	124	44	102	15%	72	42
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 18-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
福井県	7,726	0.7%	984	55	6,308	0.7%	804	54	1,419	0.8%	181	55
福井・坂井	4,894	63%	1,219	63	4,065	64%	1,013	63	830	58%	207	59
奥越	335	4%	590	41	252	4%	443	39	84	6%	147	51
丹南	1,306	17%	702	45	970	15%	521	42	336	24%	181	55
嶺南	1,190	15%	848	50	1,021	16%	727	51	169	12%	120	47
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資_図表 18-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
福井県	864	0.8%	110	54	1,369	0.5%	174	45
福井・坂井	537	62%	134	59	892	65%	222	50
奥越	41	5%	72	47	75	5%	132	41
丹南	176	20%	94	51	199	15%	107	38
嶺南	111	13%	79	48	203	15%	145	42
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資_図表 18-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
福井県	55	0.4%	0.5	41	6	0.6%	0.1	48
福井・坂井	35	64%	0.6	44	3	50%	0.1	48
奥越	5	9%	0.5	41	2	33%	0.2	71
丹南	11	20%	0.4	40	1	17%	0.0	46
嶺南	4	7%	0.2	35	0	0%	0	39
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資_図表 18-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
福井県	11,899	0.8%	102	54	8,542	0.9%	73	61	3,357	0.6%	29	44
福井・坂井	6,411	54%	111	60	4,207	49%	73	61	2,204	66%	38	51
奥越	970	8%	90	47	834	10%	78	65	136	4%	13	33
丹南	2,663	22%	97	51	1,963	23%	72	60	700	21%	26	42
嶺南	1,855	16%	87	45	1,538	18%	72	60	317	9%	15	35
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

18. 福井県

資_図表 18-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
福井県	3,139	0.9%	27	59	4,795	0.9%	41	58	608	0.9%	5.2	52
福井・坂井	1,361	43%	24	53	2,617	55%	45	62	229	38%	4.0	49
奥越	366	12%	34	71	428	9%	40	57	40	7%	3.7	49
丹南	797	25%	29	63	955	20%	35	52	211	35%	7.7	58
嶺南	615	20%	29	62	795	17%	37	54	128	21%	6.0	54
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
福井県	446	0.2%	3.8	41	326	1.6%	2.8	58	1,064	0.6%	9.1	46
福井・坂井	340	76%	5.9	43	246	75%	4.3	66	576	54%	10.0	48
奥越	0	0%	0	37	0	0%	0	43	87	8%	8.1	44
丹南	106	24%	3.9	41	80	25%	2.9	59	198	19%	7.2	43
嶺南	0	0%	0	37	0	0%	0	43	203	19%	9.5	47
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
福井県	1,521	0.8%	13.0	52	206	2.2%	1.8	60	1,315	0.7%	11.2	50
福井・坂井	1,042	69%	18.1	61	114	55%	2.0	61	928	71%	16.1	59
奥越	49	3%	4.6	39	0	0%	0	45	49	4%	4.6	39
丹南	316	21%	11.5	50	92	45%	3.4	73	224	17%	8.2	45
嶺南	114	7%	5.3	40	0	0%	0	45	114	9%	5.3	40
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
福井県	1,293	0.8%	11.0	57	935	0.8%	8.0	54	358	1.0%	3.1	60
福井・坂井	642	50%	11.2	57	459	49%	8.0	54	183	51%	3.2	61
奥越	111	9%	10.3	54	84	9%	7.8	53	27	8%	2.5	53
丹南	302	23%	11.0	57	239	26%	8.7	57	62	17%	2.3	50
嶺南	238	18%	11.1	57	153	16%	7.1	50	86	24%	4.0	71
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
福井県	10,948	0.8%	93	53	10,054	0.8%	86	58	894	0.4%	7.6	40
福井・坂井	5,530	51%	96	55	5,130	51%	89	60	399	45%	6.9	38
奥越	911	8%	85	48	842	8%	78	52	69	8%	6.4	37
丹南	2,530	23%	92	53	2,337	23%	85	57	193	22%	7.0	38
嶺南	1,977	18%	92	53	1,745	17%	81	55	233	26%	10.9	45
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 18-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
福井県	2,773	0.4%	24	41	3,205	0.9%	27	57	5,947	0.4%	51	38
福井・坂井	1,439	52%	25	42	1,202	38%	21	50	2,797	47%	49	38
奥越	201	7%	19	39	258	8%	24	53	503	8%	47	37
丹南	610	22%	22	41	812	25%	30	59	1,198	20%	44	36
嶺南	523	19%	24	42	933	29%	44	74	1,449	24%	68	44
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

18. 福井県

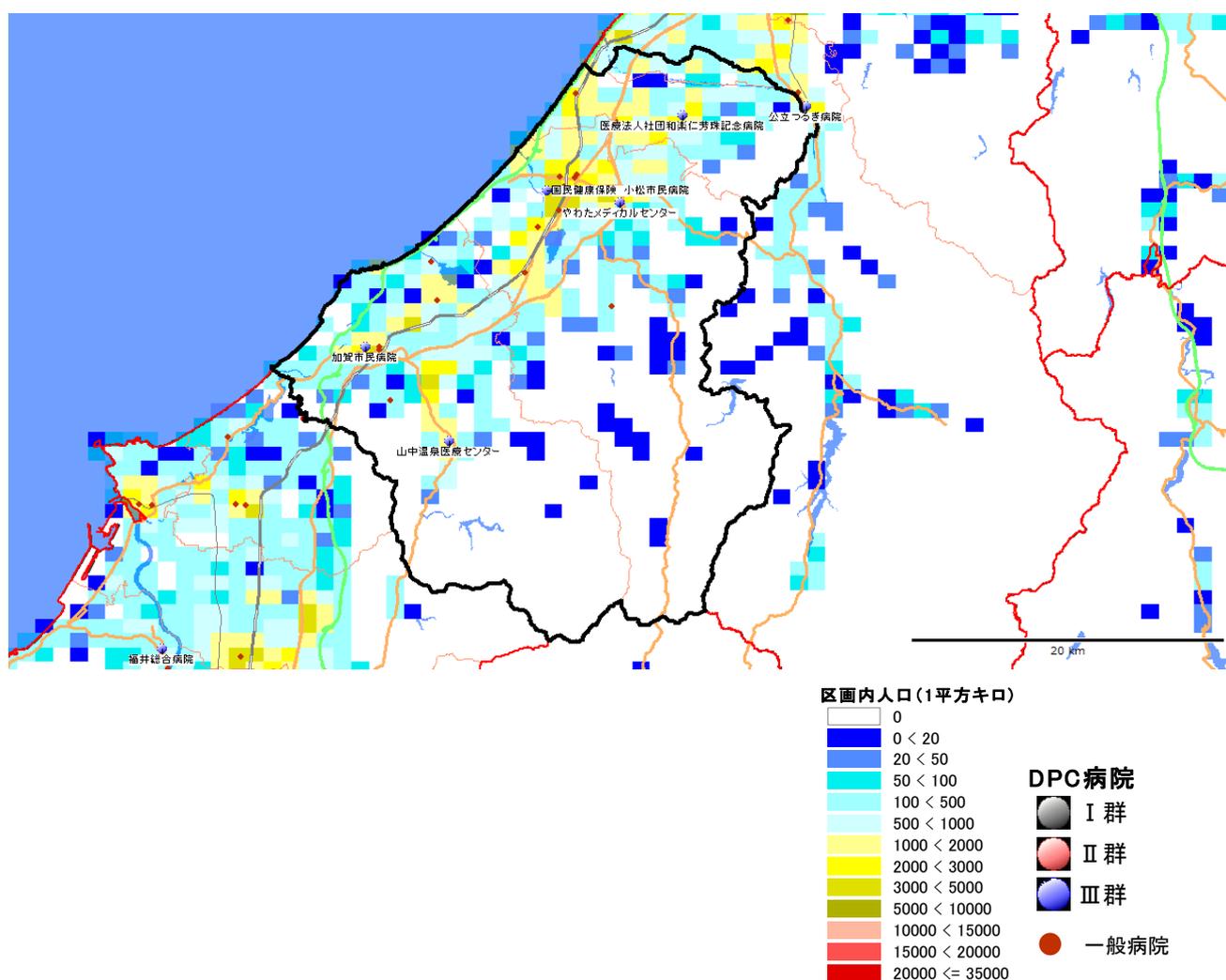
資_図表 18-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
福井県	5,370	4,268	265	5,729	2,122	2,077	66.8%	56	11.3%	51
福井・坂井	3,382	2,670	0	3,092	1,487	1,001	64.2%	55	0.0%	46
奥越	199	195	0	347	103	109	65.4%	55	0.0%	46
丹南	440	436	0	1,573	489	694	47.1%	48	0.0%	46
嶺南	1,349	967	265	717	43	273	95.7%	68	49.3%	67
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

18-1. ふくい さかい 福井・坂井医療圏

構成市区町村¹ 福井市,あわら市,坂井市,永平寺町

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 福井・坂井医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(福井・坂井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 福井・坂井(福井市)は、総人口約 401 千人(2015 年推計)、面積 957 km²、人口密度は 419 人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 福井・坂井の総人口は 2025 年に 378 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 331 千人へと減少する(2025 年比-12%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 58 千人が、2025 年にかけて 73 千人へと増加し(2015 年比+26%)、2040 年には 76 千人へと増加する(2025 年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 福井・坂井の一人当たり医療費(国保)は 346 千円(偏差値 59)、介護給付費は 283 千円(偏差値 59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 福井・坂井の一人当たり急性期医療密度指数³は 1.47、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.56 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 63(病院医師数 66、診療所医師数 52)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 63 と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 64 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 60 と多い。福井・坂井には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の福井県済生会病院、福井大学医学部附属病院(I 群)、福井県立病院(救命)、1000 例以上の福井赤十字病院、500 例以上の福井総合病院がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 59 と多く、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 福井・坂井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6411 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4207 床(偏差値 61)、高齢者住宅等が 2204 床(偏差値 51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5130 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 60)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 62、介護療養

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 49、有料老人ホーム 43、軽費ホーム 66、グループホーム 48、サ高住 61 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、399 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 38) で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

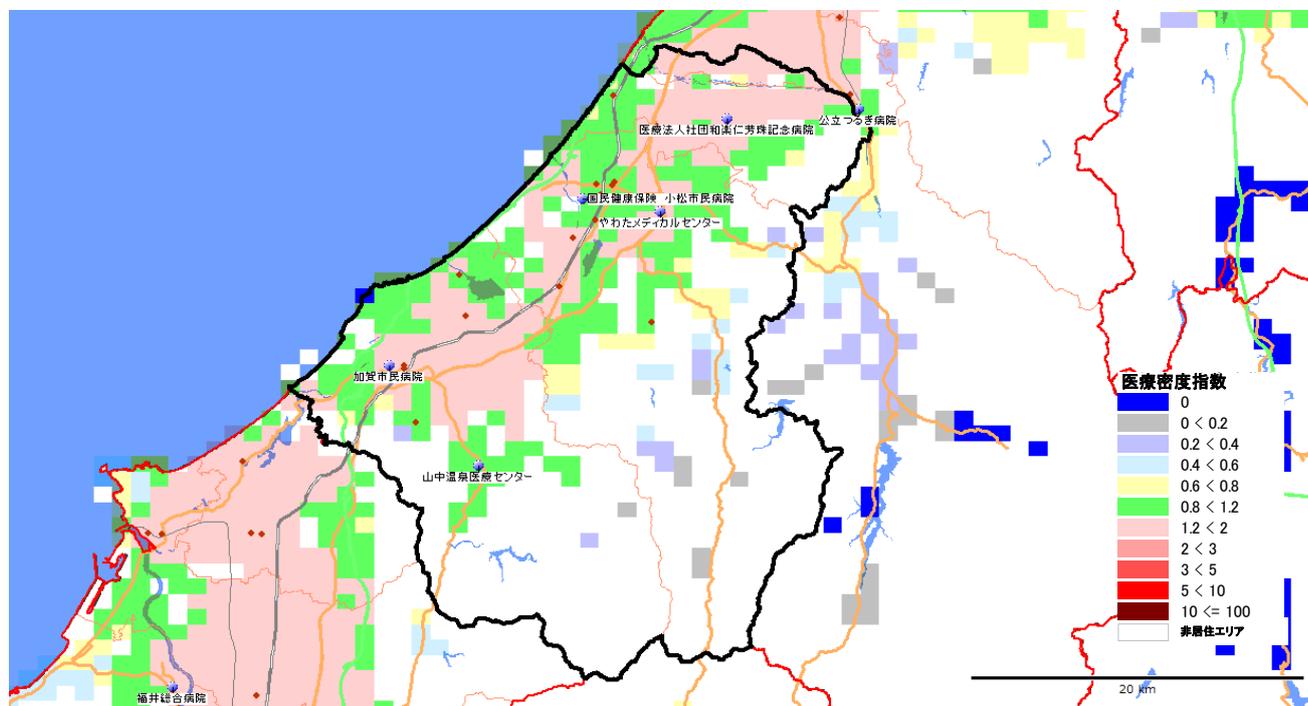
***介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+11%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は-17%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均 (95.5 床) と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

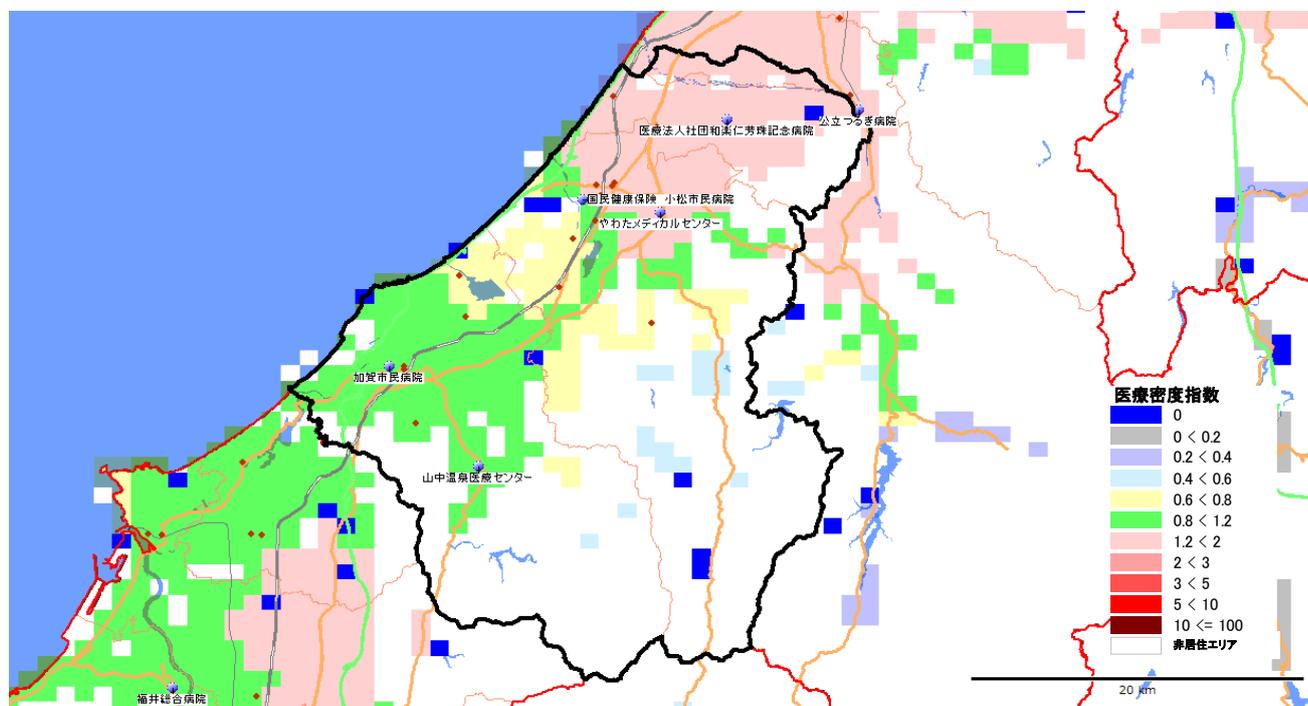
18. 福井県

2. 医療密度⁵

図表 18-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 18-1-2 慢性期医療密度指数マップ

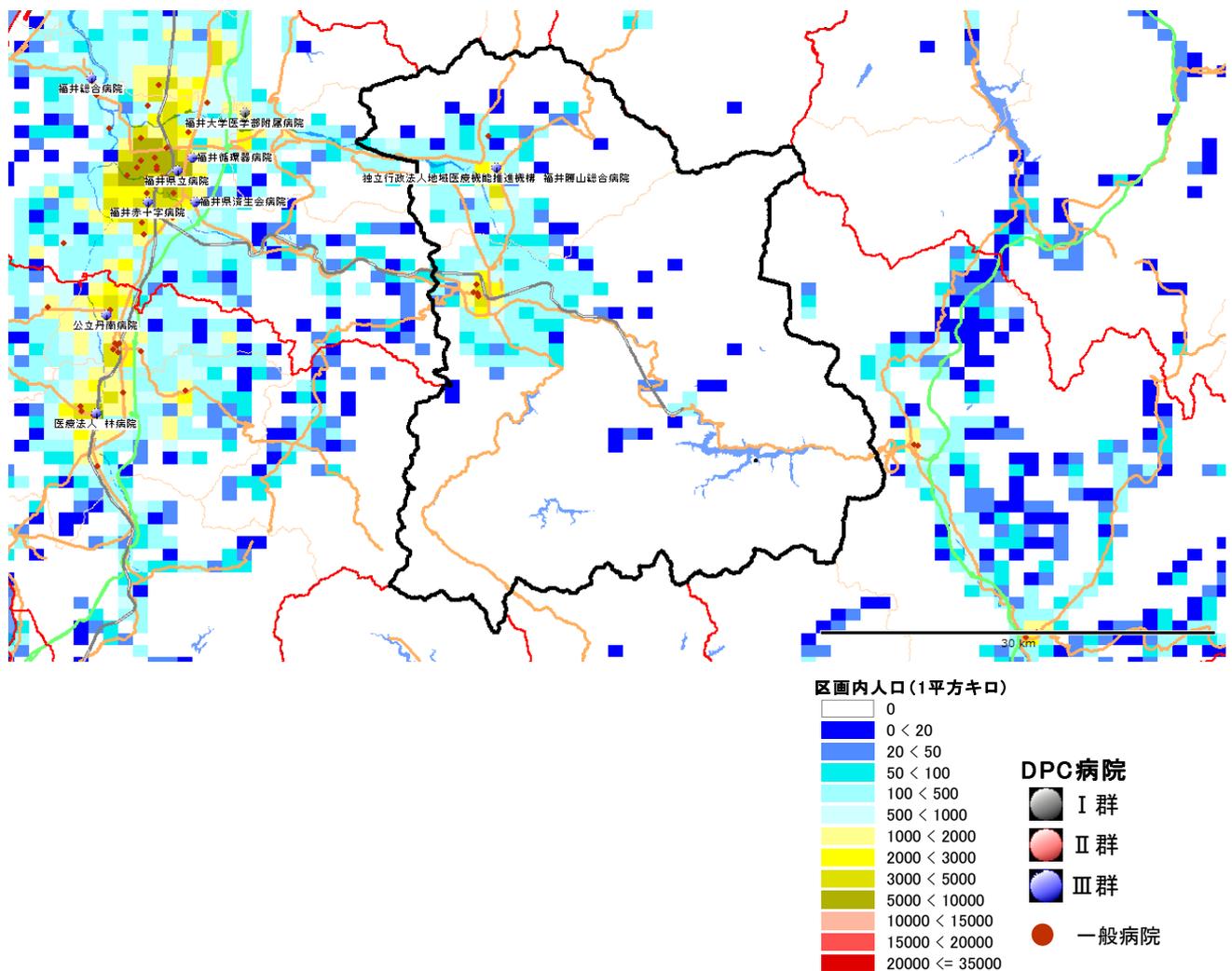


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

18-2. おくえつ 奥越医療圏

構成市区町村¹ 大野市,勝山市

人口分布² (1km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 奥越医療圏を1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(奥越医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 奥越(大野市)は、総人口約 57 千人(2015 年推計)、面積 1126 km²、人口密度は 50 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 奥越の総人口は 2025 年に 49 千人へと減少し(2015 年比-14%)、2040 年に 38 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 11 千人が、2025 年にかけて 12 千人へと増加し(2015 年比+9%)、2040 年には 11 千人へと減少する(2025 年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 奥越の一人当たり医療費(国保)は 379 千円(偏差値 67)、介護給付費は 309 千円(偏差値 66)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 奥越の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.82、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.07 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 37(病院医師数 37、診療所医師数 40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 41 と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 42 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 35 と少ない。奥越には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 47 と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 47 とやや少なく、回復期病床数は偏差値 53 とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 40 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 奥越の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、970 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 834 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 136 床(偏差値 33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、842 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 71、特別養護老人ホーム 57、介護療養型医療施設 49、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 44、サ高住 39 である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 41 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 71 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、69人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

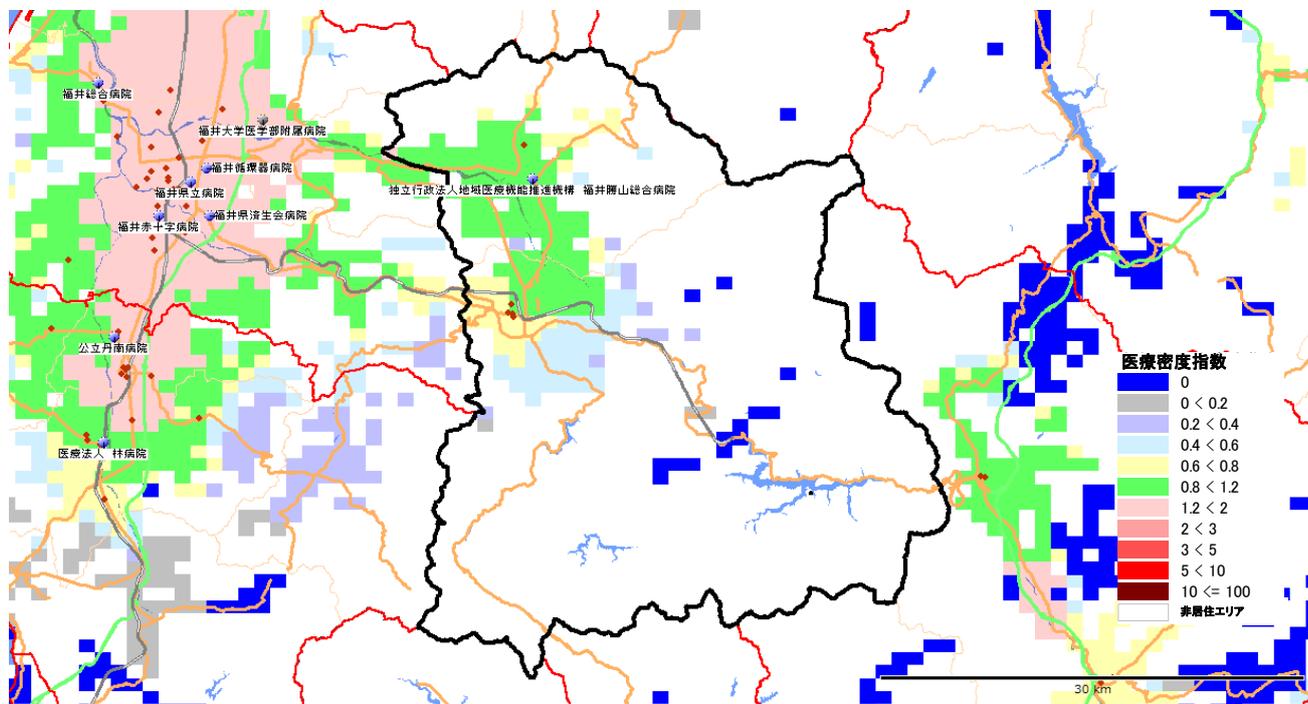
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は±0%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

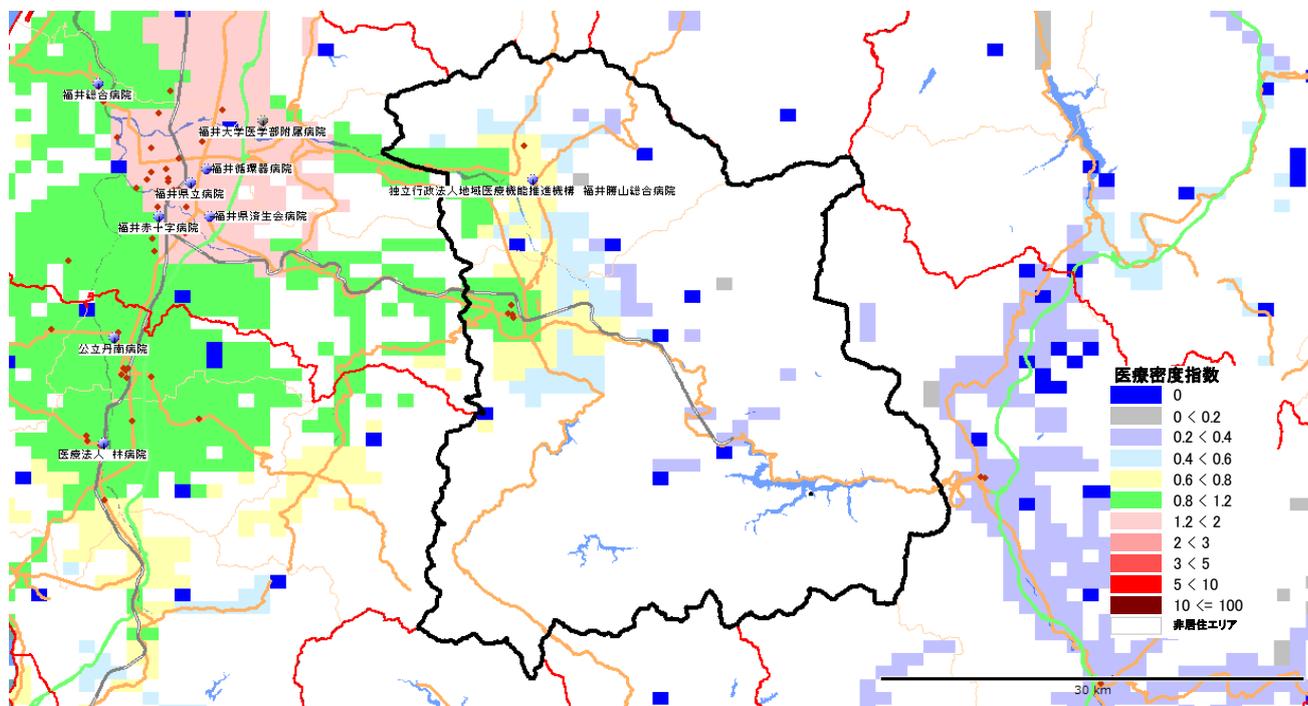
18. 福井県

2. 医療密度⁵

図表 18-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 18-2-2 慢性期医療密度指数マップ

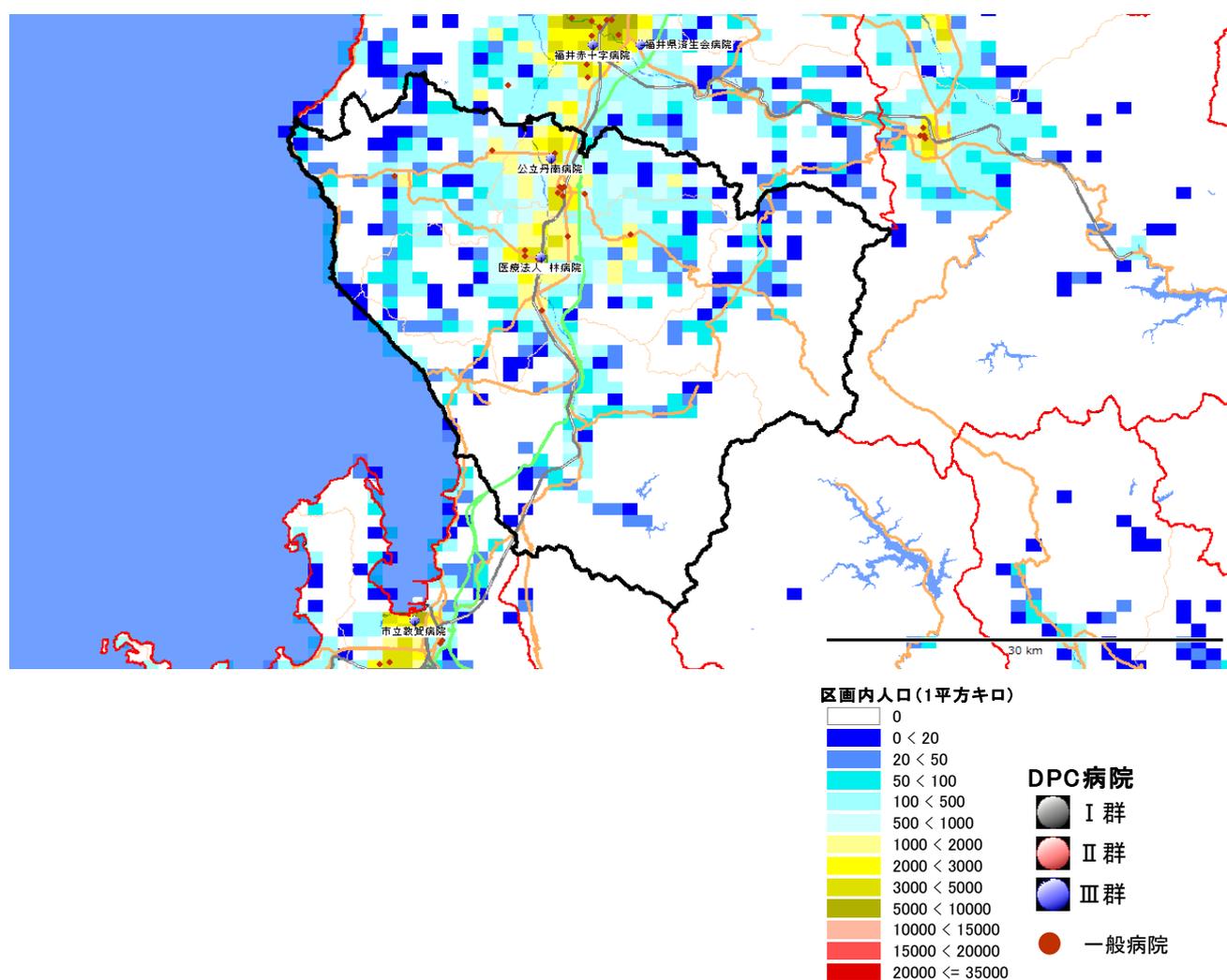


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

18-3. たんなん 丹南医療圏

構成市区町村¹ [鯖江市](#), [越前市](#), [池田町](#), [南越前町](#), [越前町](#)

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 丹南医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(丹南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 丹南(鯖江市)は、総人口約 186 千人(2015 年推計)、面積 1007 km²、人口密度は 185 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 丹南の総人口は 2025 年に 175 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 153 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 27 千人が、2025 年にかけて 33 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 34 千人へと増加する(2025 年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 丹南の一人当たり医療費(国保)は 337 千円(偏差値 57)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 丹南の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.84 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 37(病院医師数 38、診療所医師数 40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 45 とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 41 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 34 と非常に少ない。丹南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 55 と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 47 とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 47 で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 41 で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 丹南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2663 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1963 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 700 床(偏差値 42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2337 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 63、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 58、有料老人ホーム 41、軽費ホーム 59、グループホーム 43、サ高住 50 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 40 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 46 と

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

やや少ない。介護職員（在宅）の合計は、193人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

【医療と介護の需要予測】

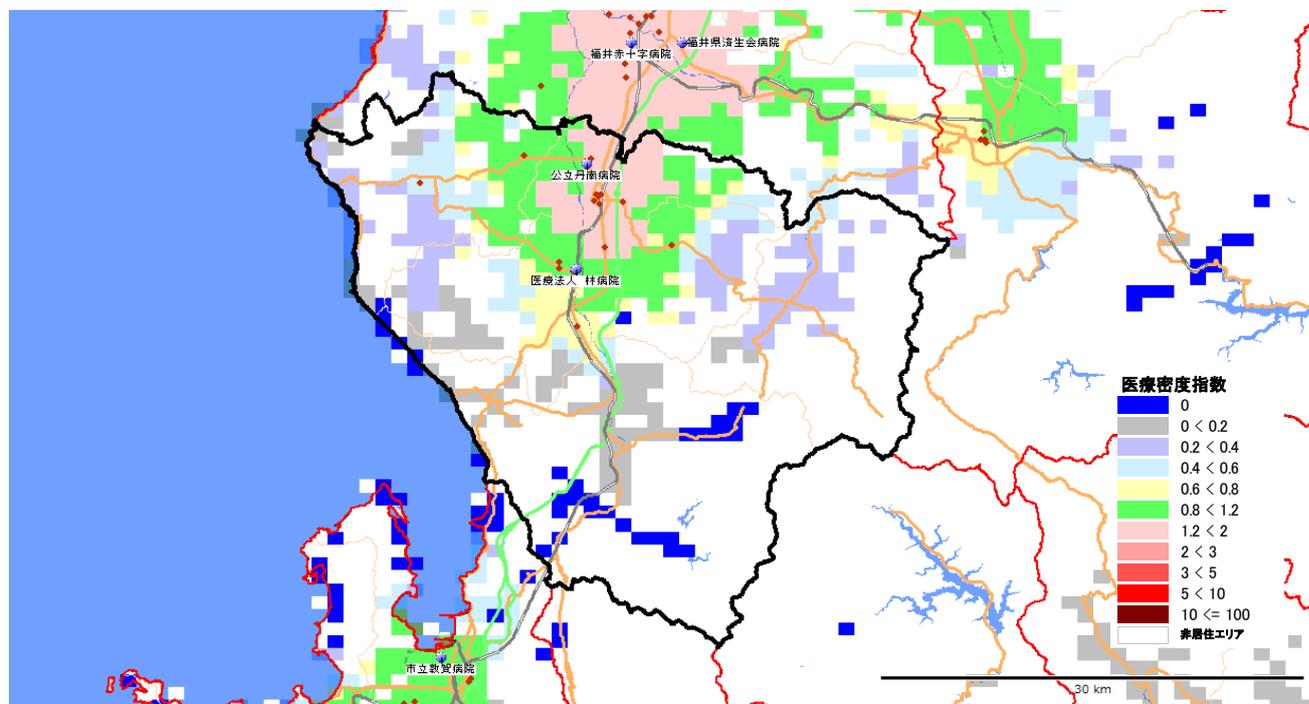
***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は+5%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

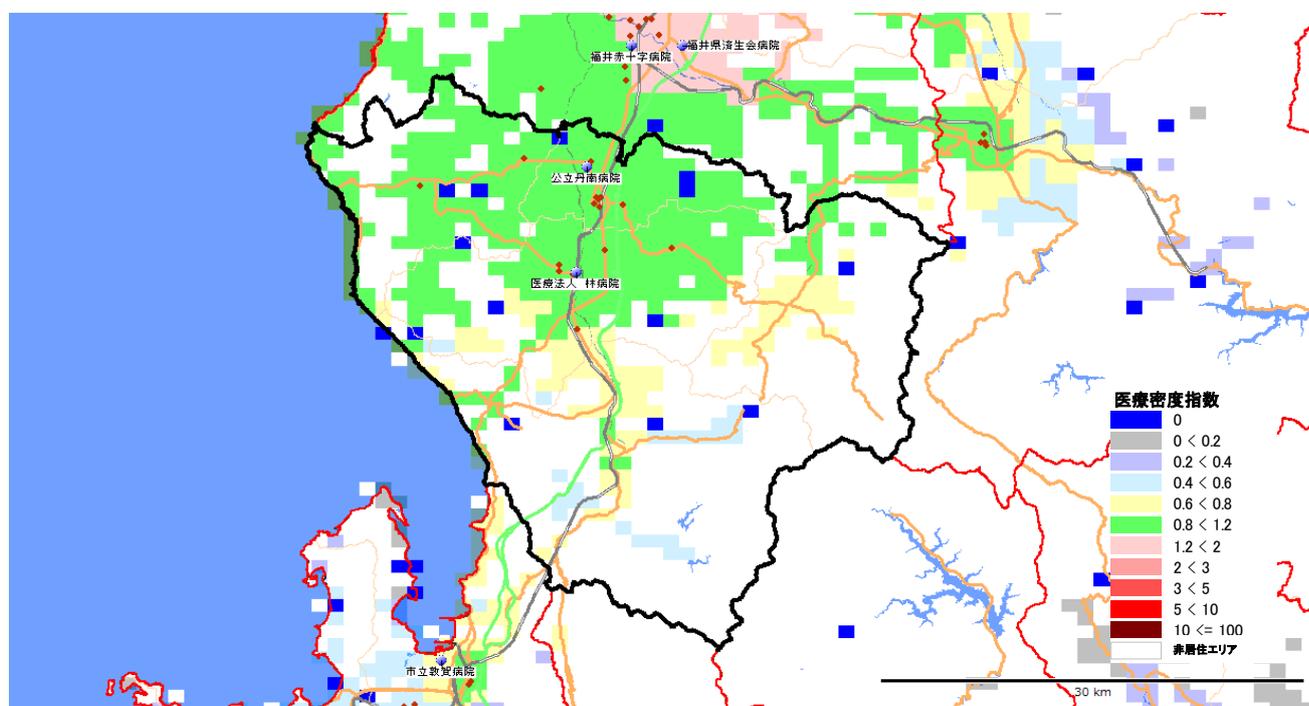
18. 福井県

2. 医療密度⁵

図表 18-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 18-3-2 慢性期医療密度指数マップ

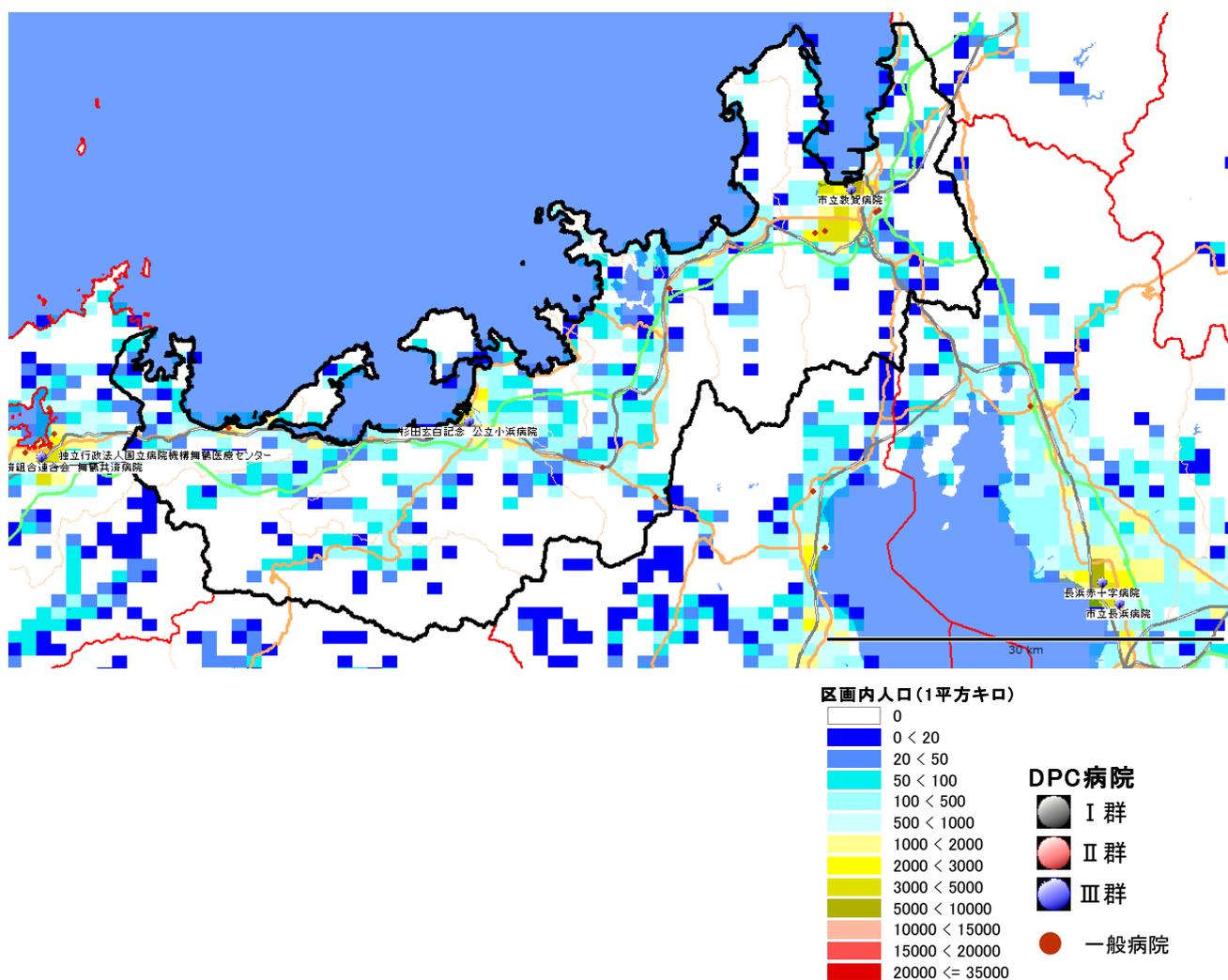


⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

れいなん 18-4. 嶺南医療圏

構成市区町村¹ 敦賀市,小浜市,美浜町,高浜町,おおい町,若狭町

人口分布² (1 km²区画単位)



¹ 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

² 嶺南医療圏を1 km²区画(1 km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

(嶺南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 嶺南(敦賀市)は、総人口約 140 千人(2015 年推計)、面積 1099 km²、人口密度は 128 人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 嶺南の総人口は 2025 年に 129 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 110 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 21 千人が、2025 年にかけて 25 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 25 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 嶺南の一人当たり医療費(国保)は 325 千円(偏差値 54)、介護給付費は 288 千円(偏差値 60)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 嶺南の一人当たり急性期医療密度指数³は 0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.1 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 44、診療所医師数 42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 50 と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。嶺南には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 48 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 43 と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 47 で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 嶺南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1855 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1538 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 317 床(偏差値 35)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1745 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 55)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 62、特別養護老人ホーム 54、介護療養型医療施設 54、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 47、サ高住 40 である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 35 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

³その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、233人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

【医療と介護の需要予測】

***介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数⁴は-5%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-22%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

